

事 務 連 絡  
令 和 5 年 6 月 23 日

各 ( 都 道 府 県 )  
( 保 健 所 設 置 市 ) 衛生主管部 (局) 御中  
( 特 別 区 )

厚生労働省健康局結核感染症課

オズウイルスによる心筋炎と診断された患者の報告について(情報提供)

今般、別添1のとおり、2022年初夏に心筋炎で亡くなられた患者について、茨城県衛生研究所と国立感染症研究所における検査の結果、オズウイルス(Oz virus)による心筋炎と診断されたことが報告されました。

オズウイルスは、オルソミクソウイルス科トゴウイルス属に属するウイルスで、2018年に国内のマダニから初めて分離・同定されたウイルスです。これまでヒトを刺咬するマダニで検出されており、感染マダニの刺咬により感染する可能性が考えられますが、感染経路について現時点で確立された知見は得られていません。

つきましては、別添2及び3のとおり本症例に関するQ&Aなど、資料を取りまとめましたので、貴管内医療機関を含む関係者への周知方よろしく申し上げます。

なお、本症例に関わらず、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)や日本紅斑熱、つつが虫病等のダニ媒介感染症については、継続して患者の発生が報告されています。

マダニの多くは、春から秋にかけて活動が活発になることから、「ダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について(協力依頼)」(令和5年5月9日厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡)の内容をふまえ、ダニ媒介感染症の予防対策について、貴管内保健所や医療機関等における周知・啓発に、引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

参考資料

別添1:病原微生物検出情報(IASR)速報 初めて診断されたオズウイルス感染症患者

別添2:オズウイルス感染症について

別添3:オズウイルス感染症に関する Q&A

別添4:「ダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について(協力依頼)」(令和5年5月9日厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡)